

災害時 炊き出しで力に 新居浜市、給食センターと協定



協定書に署名する高橋代表理事
(左)と石川市長

と期待を込めた。センターの高橋健吉代表理事は「災害時に全面的な協力ができるよう努力する」と話した。
(高岡泰聖)

新居浜市と協同組合
新居浜給食センター(同
市政枝町3丁目)は29
日、災害時に備えて同セ
ンターの施設を一時避
難所や炊き出しなどの
救済所として利用する
ための協定を結んだ。
1日6千〜6500
食を調理できる施設は
3日分の米を備蓄。地
下水を確保できる井戸
が二つあり、避難所と
しての機能が期待され
る。協定では市指定避
難場所への食料などの
物資輸送を同センター
配送トラック(約40台)
が担うことも規定した。
市役所であった締結
式で石川勝行市長が
「調理能力や供給能力
は新居浜市の災害対応
の大きな助けになる」